

「日本における大規模疫学調査
(Japan Community Health Survey; JaCS2023)による
夜間頻尿へ影響を与える因子の検討」
研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2023年に日本排尿機能学会で行った下部尿路症状に関する疫学調査のアンケートを受けた方へ

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ~ 2028年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2025年6月1日

4. 研究の目的

皆様が2023年にwebアンケートにてご回答いただいた、日本排尿機能学会による「下部尿路症状に関わるアンケート」は、現在の日本における下部尿路症状(排尿困難、頻尿、尿漏れなど)の実情を明らかにすることとなりました。その中でも夜間頻尿(夜間就寝時の尿回数が多いこと)は、日常生活の中で影響を与える症状として最重要であることが判明しました。男女ともに高齢では夜間頻尿を自覚する方々が特に多く、本邦の人口動態に照らし合わせると、夜間頻尿は多くの一般住民において悩ましい症状であることが言えます。他にもそのアンケートでは、もともと患っている他のご病気や健康状態の程度など様々な質問にお答えいただきました。それらいくつかの項目は夜間頻尿との関連があると考えられ、データを詳しく解析することによって夜間頻尿の原因が明らかとなる可能性があります。今回のような非常に多くの一般住民の方々のデータをもとにした解析研究は非常に貴重で、新たな知見となるのではないかと考えられ、本研究ではそのようなデータ解析を行い夜間頻尿と関連のある要因を探りたいと思っています。

5. 研究の方法

今回の研究では、すでに皆様にお答えいただいた「下部尿路症状に関わるアンケート」のデータを夜間頻尿に着目して解析します。日本排尿機能学会で管理しているデータを当講座に譲渡いただいたの解析になります。ですので、改めてアンケートを収集することはいたしません。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：日本排尿機能学会による「下部尿路症状に関わるアンケート」で収集されたデータ(年齢、性別、

健康状態、併存疾患、下部尿路症状に関わる症状質問票など)

7. 外部への試料・情報の提供

この研究に用いる「下部尿路症状に関わるアンケート」のデータについては、日本排尿機能学会から山梨大学に提供されます。またデータ提供の際には、パスワード制御した状態で取り扱いいたします。

なおこの研究では、山梨大学から外部への試料・情報の提供は行われません。

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 泌尿器科学講座 志村 寛史

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、当講座の研究費を用いるのみなので、この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部泌尿器科学講座

学部内講師 志村 寛史

メールアドレス：shimurah@yamanashi.ac.jp

電話番号：055-273-1110（代表）